会　告

社団法人　土　木　学　会

行事案内	月　日	行　事　名	場　所	備　考
本　部	12月 5 日（木） ～ 6 日（金）	第 15 回海岸工学講演会	福 岡 市	11号5ページ参照
	1月 28 日（火） ～ 29 日（水）	第 3 回土木計画学シンポジウム	土木学会	11号6 〃
	1月 31 日（金） ～2月 1 日（土）	第 5 回衛生工学研究討論会	同	11号6 〃
	2月 7 日（金） ～ 8 日（土）	第 13 回水理講演会	東　京	11号5 〃
	2月 27日（木） ～28日（金）	第 15 回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会	11号7 〃
北海道支部	11月 21 日（火）	第4回講演会	札 幌 市	11号10 〃
関東支部	12月 14 日（土）	映　画　会	土木学会	11号10 〃
中部支部	12月 6 日（金）	土と岩の強度と変形講習会	名古屋市	11号11 〃
関西支部	11月 15 日（金）	講　習　会	大 阪 市	10号11 〃
	11月 15 日（金）	若い会員懇親パーティ	同	10号12 〃
	11月 20 日（水） 11月 21 日（木）	第2回見学会	同	11号11 〃
	11月 25 日（月）	講　習　会	同	11号11 〃
	11月 20 日（水） 11月 30 日（土）	学生見学会	同	11号12 〃
西部支部	2月 23 日（日）	研究発表会	福 岡 市	11号14 〃
その他	11月 18 日（月）	第15回風に関するシンポジウム	京 都 市	11号7 〃
	11月 25 日（月） ～ 27 日（水）	鋼材使用による急速施工講習会	名古屋市外	11号8 〃
	12月 13 日（金）	構造物の設計における電子計算機の効果的利用に関する研究発表会	土木学会	11号8 〃
	1月 25 日（土）	不等質の流れのシンポジウム	同	11号9 〃
	■昭和 43 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集			11号2 〃
	■第 2 回構造用軽量骨材に関するシンポジウム講演募集			11号5 〃
	■第 6 回理工学における同位元素研究発表会論文募集			11号9 〃
	■研究発表会論文・報文募集（北海道支部）			11号10 〃
	■国際会議のお知らせ			11号14 〃

日本学術会議第 8 期会員選挙立候補者の推薦

本年 11 月に行なわれる標記選挙の立候補者の推薦につき，理事会において協議の結果，土木学会ではつぎの 3 名の方を推薦することになりましたので，お知らせします。(50 音順)

なお，投票締切は **11 月 25 日**です。念のためお知らせします。

（全国区第 5 部　土木工学）**石原藤次郎君**　昭和 5 年京都大学卒　工学博士　京都大学教授　専攻　河海工学

（全国区第 5 部　土木工学）**平井　敦君**　昭和11年東京大学卒　工学博士　東京大学教授　専攻　橋梁工学

（地方区第 5 部　土木工学）**板倉忠三君**　昭和7年北海道大学卒　工学博士　北海道大外教授　専攻　交通工学

昭和43年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和43年10月

社団法人　土　木　学　会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし，土木学会賞のうちの功績賞については公募いたしません。

◎土木学会賞候補募集要項

種別＼項目	技術賞	論文賞	吉田賞	田中賞
候補対象	土木事業の計画，設計，施工等に関し，土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績，もしくは一部の業績	（論文賞） 土木学会誌，論文集，その他の刊行物に研究，計画，設計，施工，考案などに関する論文を発表し，これが土木工学における学術，技術の進歩発展に独創的な業績をあげ，顕著な貢献をなしたもの （論文奨励賞） 土木学会誌，論文集，その他の刊行物に研究，計画，設計，施工，考案などに関する論文を発表し，これが土木工学における学術，技術の進歩発展に寄与し，独創性と将来性に富むもので受賞者の年令が原則として受賞時（44年5月末日）に満36才未満であるもの。	コンクリート，鉄筋コンクリート，プレストレストコンクリート，およびこれらに関連する優秀な研究，工事等を行なったものに授与し，その業績が土木学会の刊行物，コンクリートに関する学・協会の刊行物，その他これに類似の刊行物に研究論文，設計，施工，考案などの報告またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	（論文） 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし，公刊されたものの中から選ばれる。 （作品） 橋梁およびそれに関連する構造物で，計画，設計，施工，美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とし，つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの
受賞候補者	個人または団体	本会会員に限る。 過去の土木賞受賞者は既受賞者と重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者（共同研究者）の中に非会員，既受賞者，その他受賞候補者になることができないものが含まれていることはさしつかえないが，受賞候補者に加えることはできない。	個人または研究グループ。 ただし，外国国籍のものは，本会会員であって，その候補対象を土木学会誌，論文集，その他土木学会の刊行物に発表した者に限る。また，原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	（論文） 個人またはその複数。 （作品） 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲	昭和42年1月1日から昭和43年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和42年1月1日から，昭和43年12月31日までの間に発表されたもので，土木学会誌，論文集，その他土木学会の刊行物に登載されたものの他，他学・協会，大学，官公庁，会社などの刊行物に登載されたものを含む。 なお，同一の問題につき当該期間以前においても論文が発表されている場合には前掲に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。		（論文） 論文賞・吉田賞に同じ （作品） 昭和42年1月1日から昭和43年12月31日までの間に完成した構造物で日本人により計画，設計あるいは施工されたものに限る。 なお，完成の時期については，原則的には普通の橋梁等では供用開始の時，その他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物には，そのもの自身の完成したと見做される時とする。
推薦（応募）の方法	推薦者は会員，支部，土木事業に関連する学・協会・法人とする。 推薦者は別に定める推薦書，候補業績の要旨各1部を提出する。 なお，当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は会員，支部その他一般とするが，会員自からの応募であってもよい。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌，論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料部6と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	推薦者は会員，支部，その他一般とする。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌，論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。	（論文） 推薦者は会員，支部，その他一般とする。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌，論文集以外に発表されている場合は，推薦書に添えて審査に必要な資料20部を提出しなければならない。 （作品） 推薦者は会員，支部，その他一般とする。 推薦者は別に定める推薦調書1部を提出する。
（推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい）				
審査	表彰委員会において行なう。ただし，審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお，必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求めることがある。	吉田賞選考委員会において行なう。	田中賞選考委員会において行なう。なお，必要あるときはさらに関係資料の提出を求めることがある。
表彰	第55回通常総会において行ない賞状，賞牌を贈る。	第55回通常総会において行ない，賞状，賞牌，賞金を贈る。	第55回通常総会において行ない，賞状，賞牌，賞金を贈る。	第55回通常総会において表彰する。
締切日	昭和44年1月20日			
提出先	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

土木学会表彰規程

（総　則）

第1条　土木学会第 34 条による表彰はこの規程による。

（賞の種類）

第2条　表彰は次の土木学会賞（総称）を授与して行なう。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

（功績賞）

第3条　功績賞は土木学会の会員であって，土木工学の進歩，土木事業の発達，土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められるものに授与する。

（技術賞）

第4条　技術賞は土木事業の計画，設計，施工等に関し，土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

（論文賞）

第5条　論文賞は本会会員であって，土木学会誌，論文集，その他の刊行物に研究，計画，設計，施工，考案などに関する論文を発表し，これが土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

（2）論文奨励賞は本会会員であって，土木学会誌，論文集，その他の刊行物に研究，計画，設計，施工，考案などに関する論文を発表し，これが土木工学における学術，技術に関する進歩発展に寄与し，独創性と将来性に富むものと認められ，受賞者の年令が原則として受賞時に満 36 才未満であるものに授与する。

（吉田賞）

第6条　吉田賞はコンクリート，鉄筋コンクリート，プレストレスト コンクリートおよびこれらに関連する優秀な研究，工事等を行なったと認められるものに授与し，その業績が土木学会の刊行物，コンクリート，鉄筋コンクリートおよびプレストレスト コンクリートに関する学・協会の刊行物，その他これに類似の刊行物に研究論文，設計・施工・考案等の報告またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。

（田中賞）

第7条　田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

（1）論　文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究結果を対象とし，公刊されたものの中から選ばれる。

（2）作　品

橋梁およびそれに関連する構造物で，計画，設計，施工，美観などの面においてすぐれた特色を有すると認められる物を対象とし，長大橋梁，中小橋梁，その特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別に選ばれる。

（委員会）

第8条　土木学会賞を選考するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会

（2）表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし，論文賞，吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて，必要に応じて各賞間の調整を行ない，土木学会賞受賞候補を決定する。

（3）論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行なう。

（4）吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行なう。

（5）田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行なう。

（6）前記各委員会の構成，運営，その他については別に内規で定める。

（賞の決定，表彰の時期・方法）

第9条　土木学会賞は理事会において決定し，表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌，賞状等を授与して行なう。

◎吉田研究奨励金候補者の募集

1. 候補対象

コンクリート，鉄筋コンクリートおよびプレストレスト コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので，特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし，授与されるものが，昭和8年6月1日以降出生のものに限り，かつ，原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

2. 募集の題目

（1） 要望課題

① 鉄筋コンクリート部材の極限設計に関する研究
② 高張力異形鉄筋の有効な使用方法に関する研究
③ 軽量コンクリートに関する研究
④ 砕石コンクリートに関する研究

（2） 自由課題

(注) 来年度の要望課題としては②と④を「プレキャスト コンクリート部材の接合に関する研究」とコンクリート内の微細なひびわれに関する研究」に変更する。なお，これ以外に必要と思われる課題を追加することもある。

3. 募集の方法

日本の国籍を有する個人または研究グループの応募による。

4. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか，昭和 45 年 10 月中旬施行の第 25 回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

5. 応募の方法

一定様式による研究計画書1部を提出する。
（計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから，必らずその用紙を使用して下さい）

6. 審　　査

吉田賞選考委員会において行なう。

7. 締切期日

昭和44年1月20日

8. 提 出 先

東京都新宿区四谷1丁目　土木学会吉田賞選考委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者（敬称略）

功績賞：	草間　偉	土木工学ならびに土木事業の進展
	沼田政矩	同
技術賞：	首都高速道路公団	首都高速道路の建設（羽田線・目黒線・渋谷線・代々木線・環状線）
論文賞：	天野光三	交通施設整備の地域経済の効果に関する研究
論文奨励賞：	和田　明	入江内における冷却水取・放水の研究（綜合課目）
	合田良実	直柱に働く衝撃砕波力の研究
		有限振幅重複波ならびにその波圧に関する研究
吉田賞：	岡村　甫	高張力異形鉄筋の使用に関する基礎研究
田中賞：	伊藤　学	Response of Suspension Bridges to Moving Vehicles
	名護屋大橋	
	福島高架橋	（阪神高速道路・大阪池田線）

第 15 回海岸工学講演会

◀ 12 月 5 日（木）～6 日（金）▶

第 15 回海岸工学講演会は，つぎの日程により福岡市において開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。なお，見学会は定員に満たず余裕がありますのでご希望の方はお申込み下さい。

1. 場　　所：福岡市民会館（福岡市天神5丁目1番 23 号・電話 福岡 76-6567）
   国鉄博多駅下車，市内電車で築港回り，市民会館前下車
2. 講 演 会：1968 年 12 月 5 日（木）～6 日（金）
3. 講演題目：詳細なプログラムは，会誌9月，10 月号会告欄をご参照下さい。
4. 講 演 集：3 500 円（B 5 判 370 ページ，当日会場にて頒布）
5. 講演会参加費：無料
6. 見 学 会：1968 年 12 月 7 日（土）
   （1）コ ー ス：Aコース（博多港めぐり）：9.00 福岡市民会館前集合・出発―海の中道―志賀の島―博多駅到着，解散 12.00
   Bコース（唐津，名護屋めぐり）：9.00 福岡市民会館前集合・出発―唐津―名護屋―波戸岬―博多駅到着，解散 16.00
   （2）参 加 費：Aコース：400 円（バス代のみ）　Bコース：800 円（バス代，昼食代）
   （3）定　　員：各コース 50 名
   （4）申込方法：コース名，氏名，勤務先，連絡先，明記のうえ，参加費を添えてお申込み下さい。
   （5）申 込 先：郵便番号 160：東京都新宿区四谷1丁目　土木学会海岸工学講演会係

第 13 回 水 理 講 演 会

◀ 2 月 7 日（金）～8 日（土）▶

第 13 回水理講演会を下記により開催いたします。多数ご参加下さるようご案内いたします。なお，講演申込みは 10 月末で締切りましたのでご了承下さい。

1. 期　　日：1969 年 2 月 7 日（金）～8 日（土）
2. 会　　場：発明会館（東京都港区芝西久保明舟町 17 番地・地下鉄虎の門下車3分）
3. 課　　題：
   i) 水資源系におけるシミュレーションの手法（流量配分，河道計画，洪水調節などの問題）
   ii) 浸透層内の流れ（非ダルシー流，海岸地下水，水理構造物周辺の流れを含む）
   iii) その他
4. 講演原稿締切：12 月 5 日（厳守）

第 2 回 構造用軽量骨材に関するシンポジウム講演募集

土木学会コンクリート委員会では，ここ数年来各製造会社よりの委託により構造用軽量骨材の試験研究を行なって参りましたが，その試験結果を中心に，さらに一般の研究者の研究結果も加えて下記により標記シンポジウムを開催することになりました。現在コンクリート用新材料として脚光を浴びている人工軽量骨材の使用方法を中心に活発な論議を行なうことは斯界発展のため有意義なことと存じます。ふるってご応募下さるようご案内いたします。

1. 期　　日：1969 年2月下旬　　2. 場　　所：東　京
2. 参 加 費：未　定　　4. 講演概要：実費頒布
5. 講演申込：講演希望者は講演題目，講演者名，連絡先，勤務先を明記のうえ，400 字程度の内容梗概を付けて，11 月 10 日までに土木学会コンクリート委員会にお申込み下さい。採用のうえは，1 月 10 日までに所定の原稿用紙（全国大会と同じもの）2 枚程度の講演概要の提出をお願いいたします。なお，採否はコンクリート委員会にご一任下さい。

第3回土木計画学シンポジウム

◀ 1 月 28 日（火）～29 日（水）▶

土木計画学研究委員会はすでにシンポジウムを2回，講習会を1回開催し，土木計画学に関する研究をすすめて参りましたが，今般第1回および第2回のシンポジウムの内容を総括的にとらえ，今後の発展を計るべく，「土木計画における計量化の考えかたと問題点」を中心に第3回土木計画学シンポジウムを開催することとなりました。会員各位のご参加を希望します。

1. **期　　日**：1969 年 **1 月 28 日（火）～29 日（水）**
2. **会　　場**：土木学会図書館講堂／東京都新宿区四谷1丁目／電話 03-351-5138／交通・国電四谷駅下車2分，地下鉄四谷駅下車4分
3. **課　　題**：土木計画における計量化の考えかたと問題点
4. **内　　容**：[**第1部**] 土木計画の考えかた——第1回および第2回土木計画シンポジウムの整理と検討
   司会　八十島義之助（東大）／発表　新谷洋二（東大）／討論　委員会幹事
   [**第2部**] 土木計画における計量化の考えかたと問題点
   （第1日）司会　内田一郎（九　大）／山根　孟（建設省）／枝村俊郎（神戸大）
   小池　力（運輸省）／鈴木忠義（東工大）／菊池　宏（国　鉄）
   （第2日）司会　岩佐義朗（京　大）／島田静雄（名　大）／末石冨太郎（京　大）
   伊藤　博（経企庁）
   [**第3部**] 特別講演　渡辺　茂（東大・機械工学科）
   [**第4部**] 総括討論：　小川博三（北　大）／八十島義之助（東　大）／内田一郎（九　大）
   岩佐義朗（京　大）
   [**第5部**] 総括討論のまとめ　小川博三（北　大）
   開会あいさつ　鈴木雅次／閉会あいさつ　米谷栄二
5. **定　　員**：150 名
6. **参 加 費**：会員　1800 円，会員外　2000 円
7. **申込方法**：希望者は　①氏名，②勤務先，③連絡先，④会員区分を明記，参加費同封のうえ現金書留便でお申込み下さい。
8. **申 込 先**：土木学会事務局編集課（東京都新宿区四谷1丁目・郵便番号 160）
9. **1 次締切**（テキスト先渡）　：1968 年 11 月 30 日
   2 次締切（テキスト会場渡）：1969 年　1 月 10 日

第5回衛生工学研究討論会論文募集

恒例の標記研究討論会については，本年から全国大会が 10 月中旬に開催されたため，下記によりくり下げて実施いたします。本研究討論会も第1回を開催以来5年をむかえ，ますます盛況になりつつありますが，論文提出希望者は斯界発展のためふるってご応募下さるようご案内いたします。

1. **主　　催**：土木学会衛生工学委員会
2. **期　　日**：1969 年 **1 月 31 日（金），2 月 1 日（土）** の2日間
3. **会　　場**：土木学会土木図書館講堂
4. **論文内容**：本年度は特別に課題を決めず自由課題とします。
5. **申込方法**：**11 月 25 日**までにB5判用紙に論文題目，研究者氏名（共同研究の場合は講演者に○印を付けて下さい），勤務先，連絡先を明記し，講演概要（800 字以内）を付して土木学会衛生工学委員会宛お申込み下さい。
6. **採　　否**：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。なお，採用決定のうえは改めて講演原稿の提出方をお願い致します。
   また，応募件数によっては紙上発表のみになる論文があることを前もってお断りいたします。

第5回 岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

土木学会岩盤力学委員会では，下記により第5回岩盤力学に関するシンポジウムを開催いたしますので，講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. **期　　日**：1969 年 **2** 月 **27** 日（木），**28** 日（金）
2. **場　　所**：土木学会土木図書館講堂
3. **講演申込要項**：
   （1） 内　　容：岩盤力学に関する理論，実験，測定等の研究（ダム，トンネル，爆破等への応用例も含む）
   （2） 講演申込締切：1968 年 **11** 月 **25** 日（月）
   （3） 申　込　先：東京都新宿区四谷1丁目　土木学会岩盤力学委員会
   （4） 申込要領：講演題目，講演者名，勤務先，連絡先を明記のうえ，400 字程度の内容梗概を付けてお申込み下さい。
   （5） 講演原稿締切：1968 年 **12** 月 **27** 日（金）
   注：1. 講演時間は，1件討議を含め 30 分程度を予定しております。
   2. 講演の採否その他については，岩盤力学委員会にご一任下さい。
   3. 講演者には，当学会所学の様式にしたがって，講演原稿をご提出していただきます。

第15回 風に関するシンポジウム

◀ 11 月 18 日（月）▶

標記シンポジウムを下記により開催いたしますからふるってご参加下さるようご案内申上げます。

1. **期　　日**：1968 年 **11** 月 **18** 日（月）9.30～18.00
2. **会　　場**：京都大学理学部地球物理学教室（京都市左京区北白川追分町）
3. **共催学会**：地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会（本年度幹事）・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会
4. **会　　費**：聴講無料
5. **プログラム**：

9.30～ 9.45	（1）超音波微風計について	京大防災研　光田　寧・京大理　蒲生　稔
9.45～10.00	（2）強風用超音波風速計について	気象研　相馬　清二・江口　博
10.00～10.15	（3）観測時間と乱れの統計量との関係	日大生産工　塩谷　正雄・岩谷祥美・黒羽剛夫
10.15～10.30	（4）自然風の変動の測定と解析法について	横浜大工　後藤　滋・公衆衛生院　関根　毅・竹中工務店　前川　甲陽
10.30～10.45	（5）風と波の相互作用（第2報）	国立防災センター　岩田　憲幸・藤縄　幸雄・田中　孝紀
10.45～10.55	休　　憩	
10.45～11.10	（6）関東平野「おろし」について	法大文　吉野　正敏
11.10～11.25	（7）空中写真からみた屋敷森の示す卓越風向	法大文　吉野　正敏
11.25～11.40	（8）日本の強風地域	気象庁東管　河村　武
11.40～11.55	（9）有明海第四紀層および屋久杉台風斑点に残った元冠の神風	九大工　眞鍋　大覚
11.55～12.45	昼　食，休　憩	
12.45～13.00	(10) 静岡県柑橘試験場気象改良工法の風洞模型実験	農技研　谷　信輝・農園芸試　岩崎　尚
13.00～13.15	(11) 三角山模型を用いた風洞実験（II）	九大工　光安　信・渡辺　忠夫・平城　直治
13.15～13.30	(12) 平屋建団地における風速変動の性状について	竹中工務店　前川　甲陽・横浜大工　後藤　滋・公衆衛生院　関根　毅
13.30～13.45	(13) 霞が関超高層ビル周辺の風と雨の特性	東海大理　荒川　秀俊・気象研　相馬　清二・堤　敬一郎・江口　博
13.45～14.00	(14) 建物の周りの風圧分布の計算法	鹿島建設技研　小林　正二・吉田　正邦
14.00～14.15	(15) 吊橋の失速フラッターに関する研究	三菱重工長崎研　筌口　展宏・坂口　弘
14.15～14.30	(16) 変動風による吊橋振動に関する研究	三菱重工長崎研　筌口　展宏・坂口　弘・田中　博喜
14.30～14.45	(17) 吊橋の風による自励振動	東大工　平井　敦・中大理工　岡内　功・東大工　宮田　利雄
14.45～15.00	(18) 構造物の耐風応答とくにフラッター現象に関する基礎的研究	京大工　小西　一郎・白石　成人
15.00～15.15	休　　憩	
15.15～15.30	(19) 自然風による四角柱の応答に関する実験	京大防災研　石崎　澆雄・室田　達郎
15.30～15.45	(20) 非充実角柱の空力的不安定性について	京大防災研　石崎　澆雄・許　昌九
15.45～16.00	(21) 天幕の風による振動	大阪市大工　川村　純夫
16.00～16.15	(22) 変動風を受ける建物の壁面開口を通る気流の性状について	公衆衛生院　関根　毅・横浜大工　後藤　滋・竹中工務店　前川　甲陽
16.15～16.30	(23) 数値解法による地表風の求め方	東北大理　大西　外史
16.30～16.45	(24) 乱流境界層内の拡散計算	三菱重工長崎研　筌口　展宏・井手　靖雄
16.45～17.00	(25) メタン蒸気の上昇拡散について	お茶の水大理　坂上　治郎・加藤真規子
17.00～17.10	休　　憩	
17.10～18.00	（特別講演）大気乱流の測定に関する最近の話題	京大防災研　光田　寧

鋼材使用による急速施工講習会

◀ 11 月 25 日（月）～27 日（水）▶

1. 期　　日：① 11 月 25 日（月）・② 11 月 26 日（火）・③ 11 月 27 日（水）
2. 場　　所：① 豊田ビル 6 階ホール（名古屋市中村区笹島町）
   ② 石原ビル 9 階ホール（大阪市西区土佐堀船町）
   ③ 福岡ビル 9 階大ホール（福岡市天神町）
3. 主　　催：社団法人　鋼材倶楽部
4. 後　　援：運輸省・建設省・土木学会・日本鋼構造協会・全国建設業協会
5. 聴 講 料：1 000 円（テキスト代を含む）
6. 申込方法：鋼材倶楽部にお問合せ下さい。
7. 内　　容：

13.00～13.30	総　　論	①	②	③	道路公団	村 上 永 一		
13.30～14.20	陸上交通施設　I	①	②		中部地建	浅 間 達 雄・③	交通営団	富 張 清一郎
14.20～15.10	陸上交通施設　II	①	②		道路公団	池 田 哲 夫・③	首都高速	加 藤 正 晴
15.20～16.10	河川港湾施設　I	①	②	③	運 輸 省	大 隅 正 登		
16.10～17.00	河川港湾施設　II	①	②	③	建 設 省	本 間 俊 朗		

構造物の設計における電子計算機の効果的利用に関する研究

（第 15 回橋梁・構造工学研究発表会）

◀ 12 月 13 日（金）▶

第 15 回橋梁・構造工学研究発表会は，土木，建築分野の各種構造物の設計における電子計算機の利用に関する新しい研究および構造物の解析，設計に電子計算機を用いていちじるしい効果をあげた独創的な報告を内容として，下記により開催いたしますので多数ご参集下さるようご案内いたします。

1. 共　　催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
2. 期　　日：1968 年 12 月 13 日（金）
3. 会　　場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目）
4. 会　　費：聴講無料
5. 講演概要：会場にて実費頒布
6. プログラム：

9.30～ 9.35	開会の辞	日本学術会議構造研究連絡委員会委員　平 井　敦
9.35～ 9.50	① 一本柱橋脚の電子計算機による自動設計について	中央復建コンサルタント　上原　基也・○山尾　弘昌
9.50～10.05	② 任意形状板の曲げ	九大　山崎　徳也・○後藤恵之助
10.05～10.20	③ 単純合成桁の自動設計	三菱重工　米 長　泰
10.20～10.35	④ 活荷重合成桁（道路橋）の設計計算における全自動化プログラム	汽車製造　片 岡　敬・○山田　友久・佐藤　哲也・尾形　重夫
10.35～10.45	①～④　討　　議	
10.45～10.50	休　　憩	
10.50～11.05	⑤ 単純桁の自動設計および図面のディジタル化	横河橋梁　鳥居　邦夫
11.05～11.20	⑥ 任意形格子桁の自動設計のための 1 アプローチ（任意形格子桁の設計断面力の自動解析について）	宮地鉄工　後藤　茂夫・今野　光明・○大西　聿紀・大 規　護
11.20～11.35	⑦ 電子計算機を利用した国鉄構造物の新しい設計	国鉄構設　酉亀　達夫・黒河内　浩・近藤　時夫・田村　浩一・田島　二郎
11.35～11.50	⑧ 土木構造物の設計における解析写真測量技術の導入	東大生研　丸安　隆和・○村井　俊治・川田工業　船木　健治
11.50～12.00	⑤～⑧　討　　議	
12.00～13.00	昼 食 休 憩	
13.00～13.15	⑨ Simulation による橋梁の耐久力判定と疲労設計に関する一考察	金沢大　小堀　為雄
13.15～13.30	⑩ Transfer Matrix 法を応用した橋桁の合理的設計法に関する研究	京大　山田　善一・金沢大　小堀　為雄・大阪府　○池田　紀彦
13.30～13.45	⑪ 電子計算機による吊橋の構造解析	横河橋梁　長谷川脩一・菅　七 郎・○原田　康夫・鳥居　邦夫
13.45～14.00	⑫ 吊橋架設時の変形および応力解析	建設省　○沢井　広之・田中　淳之・大日本コンサルタント　小神野竹男
14.00～14.15	⑬ 仮設途上にある構造物の応力解析法	法政大　大地　羊三
14.15～14.25	⑨～⑬　討　　議	
14.25～14.30	休　　憩	

14.30～14.45	⑭ わが国の設計慣習に立脚したプログラム システム	構造計画研究所　服部　正・○加藤　進
14.45～15.00	⑮ 構造設計における Computer 導入の問題点	構造計画研究所　服部　正
15.00～15.15	⑯ 電子計算機による立体骨組構造の地震応答解析	野沢工業研究所　大屋　竹三
15.15～15.30	⑰ 線形計画法を用いた平面ラーメンの最適設計法	日本鋼管　中村　雄治
15.30～15.40	⑭～⑰ 討　　議	
15.40～15.55	⑱ 原子力発電所の耐震設計に関する研究	鹿島建設　武藤　清・○内田　一義・高瀬　啓元
15.55～16.10	⑲ 橋梁の地震応答解析	
	鹿島建設　武藤　清・八千代エンジニアリング　小寺　重郎・鹿島建設　○井上　雅右・八千代エンジニアリング　大浦　正昭	
16.10～16.25	⑳ 建築の構造設計と電子計算機の利用の功罪	建設省　和泉　正哲
16.25～16.35	⑱～⑳ 討　　議	
16.35～16.40	閉会の辞	日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁・構造工学分科会委員長　仲　威雄

不等質の流れのシンポジウム

◀ 1 月 25 日（土）10.00～ ▶

1. **開 催 日**：1969 年 **1 月 25 日**（土）10.00～16.40
2. **共　　催**：（順不同）日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会・化学工学協会・造船学会・土木学会・日本海洋学会・日本機械学会・日本気象学会・日本建築学会・農業土木学会
3. **会　　場**：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目・外濠公園入口）
4. **内　　容**：題目数：8，講演時間：40 分（25 分＋討論 15 分）

10.00～10.10	開会あいさつ	
10.10～10.50	(1) 河口密度流の 2,3 の性質について	運輸省港湾技術研究所　工博　浜田　徳一
10.50～11.30	(2) 淡塩水界面における乱れ拡散に関する研究	東北大学工学部　工博　岩崎　敏夫
11.30～12.10	(3) 流砂を伴う開水路の流れ	東京工業大学工学部　工博　吉川　秀夫
13.00～13.40	(4) 泥水の管抵抗について	東京教育大学農学部　農博　岸上　定男
13.40～14.20	(5) 液体機械内の気泡混合流	名古屋大学工学部　工博　村上　光清
14.20～15.00	(6) 液体機械におけるスーパーキャビテーション	東北大学高速力学研究所　工博　斉藤　清一
15.10～15.50	(7) 不均一流れにおける船用プロペラのキャビテーション	運輸省船舶技術研究所　伊藤　達郎
15.50～16.30	(8) 衝撃波を伴う不等質の流れ	京都大学工学部　工博　神元　五郎
16.30～16.40	閉会あいさつ	

第 6 回 理工学における同位元素研究発表会論文募集

関係 41 学協会の共同主催で，標記の研究発表会を開催しますので，多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. **会　　期**：1969 年 **4 月 22 日**（火）～**24 日**（木）
2. **発表論文**：
   （1）**内　容**：それぞれの研究分野において，その専門的成果をうるにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と，同位元素，放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお，えられた専門的成果の報告も差しつかえありません。
   研究の内容には，少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。
   （2）**発表申込み区分**：プログラム編成の便宜上，つぎのように申込み区分を設けます。
   ①放射線照射のための線源および装置に関するもの，②放射線化学その他照射効果に関するもの，③ラジオグラフィに関するもの（装置に関するものを含む），④オートラジオグラフィに関するもの，⑤放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの，⑥放射線利用機器に関するもの（エネルギー的利用，発光塗料なども含む），⑦トレーサー的利用に関するもの（安定同位元素も含む），⑧分析に関するもの（安定同位元素も含む），⑨製造，分離，精製に関するもの（安定同位元素も含む），⑩化合物の合成，標識化に関するもの（安定同位元素も含む），⑪放射線測定法および測定器に関するもの，⑫安全取扱いに関するもの（遮蔽，施設，設備，器具，健康管理なども含む），⑬廃棄物処理，汚染除去に関するもの，⑭地球化学，宇宙化学に関するもの（安定同位元素も含む），⑮その他
   （3）**発表時間**：1 件の発表 15 分以内の予定
3. **発表者の資格**：発表申込者が所属する主催学・協会の年会（大会）等の規定または慣例にしたがう。
4. **発表申込み**：所定の申込書（1 件 1 通）によりお申し込み下さい。所定の申込書は，下記あて請求して下さい。

113 東京都文京区本駒込 2 丁目 28 番 45 号（理研内）
日本放射性同位元素協会内　理工学における同位元素研究発表会
運営委員会　電話東京（03）946―7111（代表）

5. **発表申込み締切**：1969 年 **1 月 31 日**（金）必着
6. **講 演 要 旨**：講演要旨集を発行します。発表申込みあり次第，所定の原稿用紙（1 200 字程度）をお送りします。
7. **講演要旨原稿締切**：1969 年 **2 月 28 日**（金）必着
8. **そ の 他**：
   （1） この研究発表会の運営は，主催学・協会より選出された各 1 名の委員で構成された運営委員会において行ないます。
   （2） フルペーパーの報文集はとくに発行しません。
   なお，日本放射性同位元素協会の学術機関紙 “RADIOISOTOPES” にはこの研究発表会の発表論文に限り，同協会会員外でも投稿することができます。
   （3） つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから，ご注意下さい。
   i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合
   ii) 発表者の資格が，所属主催学・協会の規定または慣例に合致しない場合
   iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合

北海道支部行事案内 （郵便番号 060 札幌市南 1 条西 2 丁目 勧銀ビル 5 階 電話 (0122)25-7038）

（1） 研究発表会論文・報文募集

上記の原稿をつぎの要領で募集しております。ふるってご応募下さい。

1. **発　　表**：1969 年 **2 月 28 日**札幌市民会館で口頭発表するほか事前に「研究発表会論文集第 25 号」として本印刷のうえ刊行し本道会員・全国主要研究機関に配付する。
2. **内　　容**：土木工学，土木技術，工事報文など
3. **応 募 方 法**：1) 申込先・支部事務局へ文書または電話で
   2) 原稿要領と原稿用紙・お申込み次第急送する
4. **原 稿 締 切**：1968 年 11 月 20 日必着
5. **支部奨励賞**：応募論文について選考のうえ文部奨励賞（賞金，メダル，賞状）を授与される。

（2） 第 4 回講演会（共催土質工学会支部） ◀ 11 月 26 日（火）▶

1. **期　　日**：1968 年 **11 月 26 日**（火）13.20～
2. **会　　場**：北海道電力（株）7 階新講堂（250 人収容）
3. **時　　間・題目・講師**：
   ① 13.30～15.00 第 8 回国際橋梁構造工学会議および欧米のコンクリート工学　北大教授 工学部 工博 横道 英雄
   ② 15.00～16.30 西ドイツの工科大学における 1 年　北大教授 工学部 工博 芳村 仁
4. **聴 講 無 料**：多数の入場を観迎します。

関東支部行事案内 （郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会総務課内 電話 (03) 351—4133）

（1） 映 画 会（東京都） ◀ 12 月 14 日（土）13.30～15.30 ▶

土木学会主催第 3 回国土開発映画コンクールの入賞作品から 3 編を選んで，上映いたします。多数ご観賞下さいますようご案内いたします。

1. **場　　所**：土木図書館講堂
2. **上 映 映 画**：①江東の地下を掘る—地下鉄東西線シールド工事記録—
   （企画 帝都高速度交通営団）
   ②礎（いしずえ）—梓川電源開発の記録—
   （企画 東京電力株式会社）
   ③尾道大橋
   （企画 日本道路公団）
3. **参 加 費**：無料，ただし，前日までに電話またははがきでお申込み下さい。

中部支部行事案内

（郵便番号 460　名古屋市中区３の丸二丁目５番１号
建設省中部地建企画室　電（025）962―6311　内 375）

（１） 土と岩の強度と変形―その基礎計画への適用に関する講習会　◀ 12 月 6 日（金）▶

共　催：日本材料学会
協　賛：土木学会中部支部

1. **期　　日**：1968 年 **12 月 6 日（金）**
2. **会　　場**：愛知県産業貿易会館（名古屋市中区３の丸３丁目１の６）
3. **題目と講師**：

10.00～11.00	① 土と岩の力学概説	京大工　赤井浩一
11.00～12.00	② 土の強度と安定解析例	港湾技研　中瀬明男
13.00～14.00	③ 土のレオロジーの基礎設計	京大防災研　柴田　徹
15.00～16.00	④ 岩石および岩盤の強度と変形	神大工　桜井春輔
15.00～16.00	⑤ 有限要素法と基礎設計	名大工　川本眺万
16.00～16.30	質疑応答	

4. **聴 講 料**：会員（協賛学会員）**1 500 円**　非会員 2 000 円　学生 1 000 円（いずれも教材１部含む）
教材のみご希望の方は１部 1 000 円にて頒布いたします。ただし発送は講習会終了後
5. **定　　員**：150 名（締切期日前でも定員に達すれば，申込を打切ります）。
6. **申込方法**：前号 12 ページの申込書にご記入のうえ，聴講料を添えてお申込みください。
7. **申 込 先**：名古屋市御器所町　名古屋工大機械工学科

関西支部行事案内

（郵便番号 537　大阪市東成区中道元町１丁目 149番地
電話 大阪（06）981-2510 振替口座 大阪 8599 番）

（１） 土と岩の強度と変形　――その基礎設計への適用に関する講習会　◀ 11 月 25 日（月）▶

共催：日本材料学会・同関西支部
協賛：土木学会関西支部・土質工学会関西支部・日本建築学会近畿支部

1. **期　　日**：1969 年 **11 月 25 日（月）**
2. **場　　所**：大阪科学技術センター４階 401 号室　電話　大阪（06）443-5321
大阪市西区靱１丁目 118 番地（地下鉄３号線信濃橋下車北へ 150 m 靱公園北東角）
3. **題目と講師・その他**：中部支部行事案内参照。

（２） 第２回見学会　（難波線シールド工事見学会）

1. **期　　日**：**(1 班)** 1968 年 **11 月 20 日（水）**
(2 班) 1968 年 **11 月 21 日（木）**
2. **見 学 先**：近畿日本鉄道難波線シールド工事（複線型機械シールドによる掘進）
3. **集　　合**：各班とも 13 時 45 分までに近鉄難波線建設工事局シールド工事事務所へ集合
大阪市天王寺上本町６丁目 1-3，電話大阪（06）772-0041
市電小橋西之町電停（上本町６丁目電停より東へ次の電停）の西南
14.00～17.00 見学
4. **参 加 費**：無料
5. **定　　員**：各班 30 名
6. **申込期限**：1968 年 **11 月 1 日（金）**
7. **申込方法**：参加希望者は勤務先，連絡先，氏名および参加希望**班名**（１班または２班）を明記（様式随意）し，土木学会関西支部へお申込み下さい。
申込期限内に定員を超過したときは，ご希望に添いかねることがありますのでご了承下さい。
参加者には 11 月１日以降に参加証をお送りします。

(3) 第3回見学会 (新幹線六甲ずい道見学会)

1. 期　　日：1968年**11月29日**(金)
2. 見学先：国鉄山陽新幹線工事局神戸工事区
3. 集　　合：(A班) 11月29日9時15分までに阪神電鉄本社前(大阪中央郵便局西入　国鉄大阪駅西南)
   (B班)　〃　10時40分までに国鉄神戸駅中央正面南広場前
4. 行　　程：9.30 阪神電鉄本社前発——10.40 神戸駅経由——11.00 神戸工事区着，説明，昼食——13.00 見学 15.30 発——17.00 国鉄 大阪駅着 解散
5. 参加費：**300円**
6. 定　　員：100名(先着順)
7. 申込期限：1968年**11月14日**(木)
8. 申込方法：参加希望者は，勤務先，連絡先，氏名および**集合場所**(A班またはB班)を明記(様式随意)のうえ，参加費300円を添えて，土木学会関西支部へお申込み下さい。参加証をお送りします。

(4) 学生見学会

1. 参加者資格：土木学会**学生会員**(ただし申込期限までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正会員も有効)
2. 参加費：**100円**
3. 定　　員：各回60名
4. 申込要領：参加希望者は学校名，氏名および**参加回名**(第2回または第3回)を明記し，参加費100円を添えて各学校の**学生班長**を経由のうえ申込期限までに土木学会関西支部へお申込み下さい。
   申込期限内に定員を超過した時は学校別に**人員の割当て**をいたしますからお含みおき下さい。
   学生班長は申込先**順位番号**を付して一括申し込んで下さい。

第2回 (大阪空港見学会)

1. 期　　日：1968年**11月20日**(水)
2. 見学先：大阪空港——滑走路県道地下道，格納庫，国際線管理関係
3. 集　　合：11月20日12.45までに神戸大学土木工学教室前
4. 行　　程：13.00 神戸大発——14.00 大阪空港見学　17.00 発——18.00 阪急電鉄六甲駅着解散
5. 申込期限：1968年11月5日(火)

第3回 (堺臨海工業地帯見学会)

1. 期　　日：1968年**11月30日**(土)
2. 見学先：大阪府企業局堺臨海工業地帯，工場
3. 集　　合：11月30日13.15までに天王寺鉄道管理局前道路北側歩道地点
   (国鉄天王寺駅東出口より東へ約300m北側歩道地点)
4. 行　　程：13.30 天王寺発—14.30 大阪府臨海センター着 説明，映画，展示，見学　15.00 発—15.40 日立造船見学 16.00—16.10 関西石油見学 16.20—16.30 ゼネラル石油見学 16.50—18.00 天王寺解散
5. 申込期限：1968年11月14日(木)

(5) 学生映画会

1. 上映映画：尾道大橋(16ミリカラー55分)，明石海峡海底記録(16ミリカラー40分)，地下鉄2号線(16ミリカラー30分)
2. 日時および場所：1968年12月6日(金)14時40分　立命館大学理工学部6号館67号室
   〃　7日(土)13時　京都大学土木総合館155号室
   〃　9日(月)15時　大阪大学工学部本館4階講堂
   〃　10日(火)16時20分　大阪工業大学本館(旧)4階第II講堂
   〃　11日(水)13時　神戸大学工学部306教室
   〃　13日(金)15時　近畿大学19号館2号教室
   〃　14日(土)13時20分　大阪市立大学土木工学教室第2講義室
3. 参加費：無料　正会員の方の参加も歓迎します。

（付） 出版案内：▶関西の土木 100 年

関西支部創立 40 周年を記念して出版された本書は，古くから王城の地として絢爛たる文化が栄えた近畿一関西一地方に，近代的な土木工事の手が加えられた跡をたどったものである。単なる関西地方の工事記録ではなく，日本の土木技術史の役割をも果たしており，鋭い見通しと最新技術で事に当った先人の偉業に鼓舞激励され，発展・改良・災害の記録に教えられるところが多い。ご一読をおすすめします。

体　裁：B 5判　8ポ一段組　上製本 321 ページ　一部多色刷り　図，写真，表多数，**昭和 43 年 5 月出版**

内　容：第1章　国鉄／第2章　私鉄・地下鉄／第3等　道路／第4章　橋梁／第5章　河川一淀川の変遷／第6章　港湾一大阪港・神戸港／第7章　ダム／第8章　電力／第9章　上水道／第10章　下水道／第11章　地盤沈下／第12章　高潮／第13章　地震・風災害／第14章　教育／第15章　関西支部 40 年史

価　格：特別頒布 **700 円**　送料 100 円

▶騒音・振動公害

本書は土木学会関西支部，騒音・振動委員会がこの2年間にわたり，主として建設工事，交通機関などによる騒音・振動について調査，研究した結果をまとめたものです。

役所でその処理にあたられる方々や，工事の施工，計画，設計にあたられる人達に直接役立つことを目標に書かれていますが，一般の方々にも啓蒙の書としてぜひ一読下さるようおすすめいたします。

内　容：総説／騒音・振動の測定法と測定計器／騒音・振動公害の実態／騒音・振動の影響と許容量／騒音・振動の軽減対策／**付録**（関係法規）

体　裁：B 5判　8ポ一段組み　上製本　196 ページ，**昭和 43 年 3 月出版**

頒　価：**1000 円**　送料 100 円

申込方法：ご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部（郵便番号 537 大阪市東成区中道元町1丁目 149 番地，振替口座大阪 82599 番，電話大阪（06）981-2510 番）へお申し込み下さい。

（付 2） テキスト廃棄予告

つぎのテキストは 1968 年 12 月 31 日以降廃棄処分するかも知れませんから，ご入用の方は至急関西支部へ頒価および送料を添えてお申し込み下さい（先着順）。

最近の交通問題とその対策（昭和 33 年度刊）	頒価 400 円	送料 80 円
海岸工学の最近の進歩（昭和 35 年度刊）	〃 700 円	〃 80 円
昭和 36 年度関西支部年次学術講演概要（昭和 36 年度刊）	〃 無　料	〃 80 円
セメントコンクリート　（　〃　）	〃 225 円	〃 80 円
溶 接 構 造　（　〃　）	〃 200 円	〃 80 円
都市環境衛生（昭和 37 年度刊）	〃 450 円	〃 80 円
第 18 回年次学術講演概要　第Ⅰ部門（昭和 48 年度刊）	頒価 350 円	送料学会負担
〃　第Ⅱ部門（　〃　）	〃 400 円	〃
〃　第Ⅲ部門（　〃　）	〃 250 円	〃
〃　第Ⅳ部門（　〃　）	〃 300 円	〃

（付 3） テキスト頒布について

シールド工法研究会資料（地下鉄シールドの問題点／シールド工事施工上の問題点）の2点1組	頒価 100 円	送料 55 円
写真測量とその応用	〃 800 円	〃 80 円
土木工学における動的現象の計測とデーター処理	〃 700 円	〃 80 円
水理学・水文学における最近の進歩	〃 1000 円	〃 100 円
道路・交通工学における最近の諸問題	〃 500 円	〃 60 円
プレストレスト コンクリート最近の進歩	〃 800 円	〃 80 円
土木構造物の振動と安全性	〃 1000 円	〃 80 円
土質改良工法	〃 600 円	〃 60 円（残部僅少）
水理公式集の解説と例題	〃 375 円	〃 80 円
建設工事と高分子材料	〃 200 円	〃 60 円
構 造 工 学	〃 700 円	〃 80 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部（振替口座利用）へお申し込み下さい。

西部支部行事案内 （郵便番号 810 福岡市薬院2丁目14番21号 電 (092) 78-3714～6)

昭和 43 年度研究発表会 ◀ 2 月 23 日（日）▶

1. 開催月日：1969 年 2 月 23 日（日）
2. 会　　場：九州大学教室（福岡市箱崎町）
3. 発表申込：1968 年 12 月 20 日までに，勤務先，会員種別，氏名，発表題名を支部あて申込んで下さい。
   1人1題とします。
4. 発表時間：1題につき 15 分（質問時間を含みます。スライド使用はできません）
5. 原稿提出その他：
   ① 原稿はオフセット印刷しますので，発表申込者は支部から原稿用紙を送ります。
   ② 原稿用紙は1ページ 1620 字詰1題につき4ページとします。
   ③ 原稿提出 1969 年 1 月 31 日までに支部へ
   ④ 増刷 20 部はさしあげます。それ以上入用のときは必要部数お知らせ下さい。実費申受けます。
   ⑤ 発表者には当日2等往復汽車賃さしあげます。
6. 申 込 先：福岡市薬院2丁目14番21号 土木学会西部支部 電 78—3714

国際会議のお知らせ

（1） 土木地質に関する懇談会 (Colloque de Géotechnique)

1. 日　　時：1969 年 3 月 13 日～15 日
2. 場　　所：Toulouse FRANCE
3. 主　　催：フランス土質工学委員会・フランス岩盤力学委員会
4. テ ー マ：(1) 実験室での材料実験に関するもの
   (2) 実験室での風化度の実験に関するもの
   (3) 岩石が風化されて形成された岩に関するもの
   (4) 岩石力学的手法のコンクリートへの応用および骨材の性質がコンクリートの物性におよぼす効果

（2） “岩盤内の応力の定め方” に関する国際シンポジウム
(International Symposium on the Determination of Stresses in Rock Masses)

1. 日　　時：1969 年 5 月 19 日～21 日
2. 場　　所：Lisbon PORTUGAL
3. 主　　催：ポルトガル岩盤および土質力学グループ
4. 共　　催：国際岩の力学会
5. テ ー マ：○初期応力の定め方に関して用いられている技術
   ○外力にあって岩盤内に生ずる応力状態
   ○応力解析法に関するもの

◎以上の詳細については，土木学会事業課にお問合せ下さい。

研究船白鳳丸の共同利用について

昭和 44 年度研究船白鳳丸の共同利用の申込みを受付けておりますのでご希望の方は下記によりご連絡下さい。

記

1. 申込期限：1968 年 12 月 15 日
2. 申込書類：研究船利用申込書
3. 申 込 先：東京都中野区南台 1—15—1 東京大学海洋研究所
4. そ の 他：用紙ご入用の方は直接上記へご連絡下さい。